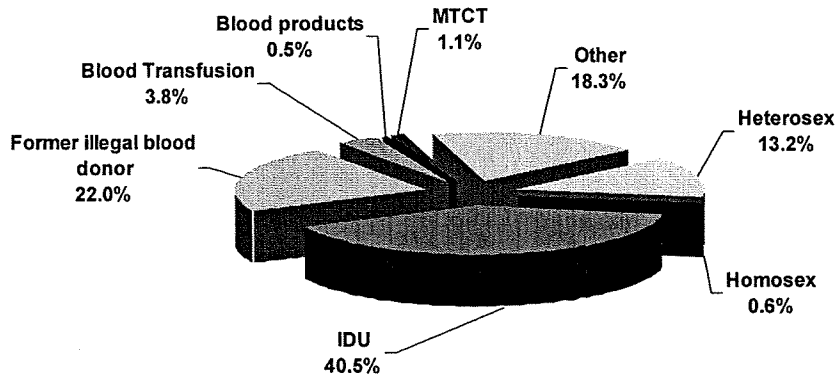
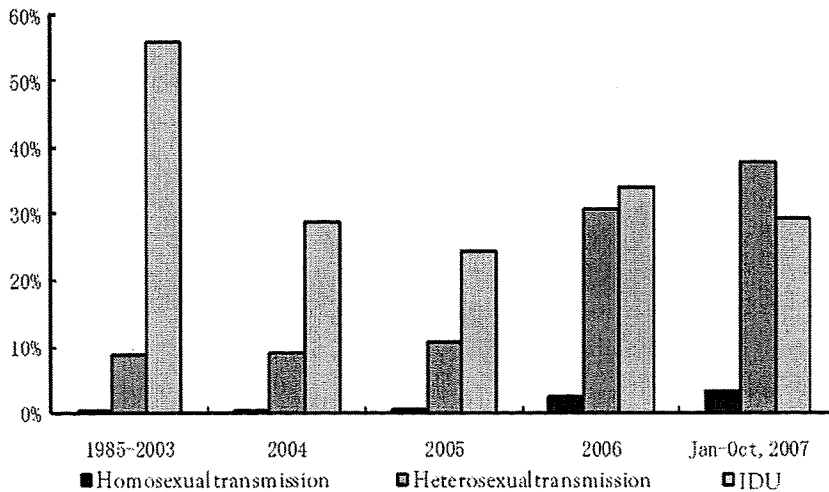


Modes of transmission among cumulative reported HIV/AIDS cases by the end of December, 2006



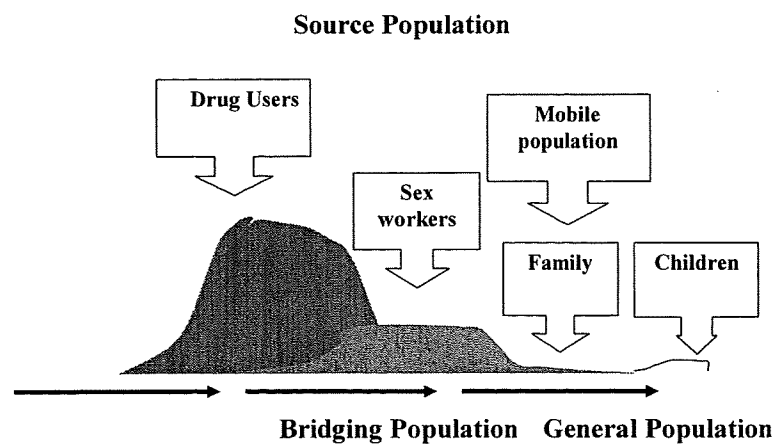
Distribution of sexual and IDU transmissions of HIV from web-based reporting



Characteristics of epidemic

- In general, HIV prevalence for the whole nation remains LOW 0.54/1000 (700,000/1.3 billion), but clusters of high prevalence exist, both geographically and among specific sub-group populations.
- However, the situation is CRITICAL:
 - 1、 The epidemic is developing among sex workers, pregnant women, drug users and MSM to different extent.
 - 2、 The number of AIDS-related deaths is increasing with the proportion of female HIV cases as well.
 - 3、 Mobile population (120 million) and risk behavior

HIV epidemic in China



2008年中国で行われた調査(1) 中国—ラオス国境地域(雲南省西双版纳州) FSWs調査 2009年9月—10月

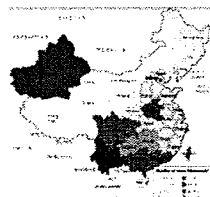
P07-05

国境地域における流動人口の健康保健及び エイズ/性感染症に関する疫学調査

—雲南省西双版纳州における女性セックスワーカーの事例から

蔡 国喜¹, 張 卓², 山本 太郎³, 康 均⁴, 門司 和彦¹

1. 総合地球環境学研究所
2. 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健計画学教室
3. 長崎大学基幹医学研究所
4. 西双版纳州疾病予防管理センター



【背景と目的】 国際的な流動人口の急増は、中国南西部とその周辺各国におけるエイズ問題を深刻なものにしている。ラオス、ミャンマー、ベトナム諸国と長い国境線を持つ雲南省は、長らくドラッグが氾濫する東南アジアの「黄金三角地帯」と呼ばれる地域に属し、静脈ドラッグ注射使用 (IDU) によるエイズの伝播は深刻な社会問題となっている。現在、雲南省ではエイズ感染者は8万人に達すると言われている。その上、近年では性交渉によるエイズの流行がIDUを越えて中国で最も重要な伝播ルートになってきた。国境貿易や出稼ぎを通して、人的往来がますます盛んになる今日、エイズ・性病を伝播するBridge Populationと呼ばれるセックスワーカーの国境を越えたエイズ・性病流行の役割を把握することが重要である。そのためには彼女(彼)らのエイズに関する知識、態度、性行動パターン、エイズ・性病の罹患率などの調査が必要である。今回、我々は中国とラオス、ミャンマーとの国境に位置する雲南省西双版纳州の女性セックスワーカーを対象とする予備的研究を実施した。



【対象と方法】 西双版纳州A市疾病管理センターの協力により、医療サービスチームが現地の娯楽所(サウナ、クラブ、カラオケ、ホテル、ヘアサロンなど)にいる女性セックスワーカーを訪問し、Mobile AIDS Voluntary Counseling and Testing (VCT)医療サービスを提供した。調査対象者463名にFamily Health International (FHI)のBSS(Behavior Surveillance Survey)質問票によるインタビューをし、採血による梅毒RPR検査、エイズ検査とカウンセリングを行った。なお、本調査は2008年9月に実施した。

部分的な結果、結論

Table 1. Demographics and background among 357 Female Sex workers

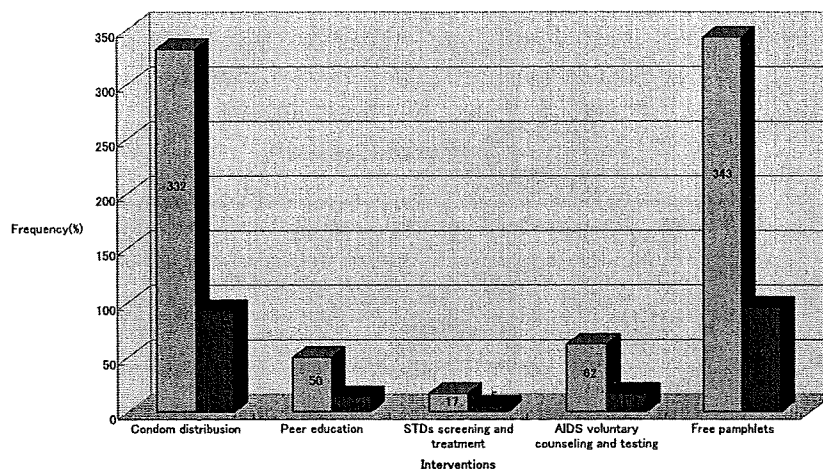
	Frequency	Percentage(%)
Marriage		
Single	293	82
Married	43	12
Cohabit	17	5
Divorced	4	1
Venue		
Souma	41	12
Night club	134	38
Karaoke	23	6
Hotel	38	10
Hair salon	120	34
Race		
Han	221	62
Dai	44	12
Hani	39	11
Aini	14	4
Others	39	11
Education		
Illiteracy	7	2
Elementary school	49	14
Junior middle school	241	67
Senior middle school	58	16
College or above	2	1

- 463名の女性セックスワーカーを訪問し、357名(77.1%)がインタビューに応じた。平均年齢22.2歳(SD=4.4)、エイズ知識の平均得点は7.1 (SD=1.5, 89%正解)であった。

エイズに関する介入

コンドーム、パンフレット配り(面子)だけがよい、
地味なVCTなどの介入が足りない

Graph 1. Exposed to Anti-AIDS interventions among Female Sex Workers (N=357)



【結論と考察】 1、この数年間、中国衛生当局がHigh Risk Populationにエイズの健康教育に力を注いだ結果、エイズの一般知識の普及に一定程度の効果が現れた。これからは健康教育と共に、セックスワーカーの性感染症スクリーニングや治療、エイズ検査の普及などの介入が更に重要になってくる。2、性感染症の罹患率が高いに対し、8割がエイズ検査を受けてないセックスワーカーの存在は、エイズ流行の拡大に繋がり、国境を越えて周辺国に伝播して行くことが危惧される。3、娯楽所以外にいる、衛生当局が把握していないセックスワーカー (Invisible FSWs) の存在については、その規模及びエイズ・性病の感染率に関する調査はほぼ空白であり、これから最重要課題の一つである。

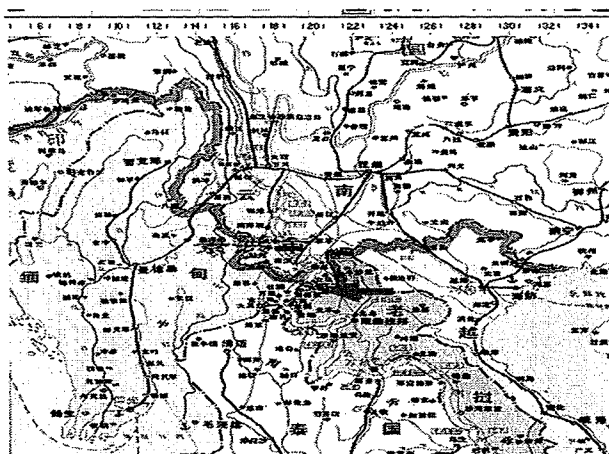
Table 2. Detailed results for knowledge over HIV/AIDS among 357 Female Sex workers

Items	Correct answer	Frequency	Correct rate(%)
Can a person be judged HIV positive by their appearance?	No	244	68
Can HIV be transmitted by unsterilized transfusion?	Yes	346	97
Can HIV be transmitted by unsterilized needles?	Yes	335	94
Can proper condom use prevent HIV transmission?	Yes	329	92
Can keeping one HIV-free sex partner contribute to HIV prevention?	Yes	318	89
Can HIV be transmitted from mother to infant?	Yes	334	94
Can HIV be transmitted by dining together with a HIV positive individual?	No	333	93
Can HIV be transmitted by mosquito biting?	No	301	84

Table 3. HIV/AIDS-related sex behavior/practice among 357 Female sex workers

Items	Mean (SD)	Frequency (%)
Age of sex debut (year)	18.2 (1.3)	
Age when you exchange sex for money for the first time (year)	20.4 (3.4)	
How many month act as a sex worker in 1 year?	6.2 (1.6)	
How many days act as a sex worker in 1 month?	15.3 (4.1)	
How many clients did you have in past 1 week?	5.1 (2.4)	
Did you use a condom when you have sex with last client?		348 (95%)
Sexual Transmitted Infection symptoms during last year		43 (12%)

2008年中国で行われた調査(2)
中国—ラオス国境を越える国際流動人口を対象とする
インタビュー調査 (2009年5月—11月)



質問表によりインタビュー(社会—人口学属性、流動性
医療保障、エイズなど感染症に関する知識など)

赴老挝中国公民健康安全调查表(入境)

您好! 为了保障赴老挝中国公民的健康安全, 我们希望了解大家的健康情况, 耽误你几分钟, 请认真填答下列问题。你的回答没有对错之分, 也不牵涉你的个人信息, 并不记录个人姓名, 但有助于我们了解实际情况, 改进工作。

非常感谢你的支持!

A. 基本信息

A1 性别 1: 男 2: 女

A2 出生年月 _____ 年 _____ 月

A3 民族 _____ 族

A4 出生地(籍贯) _____ 省 _____ 市 _____ 县

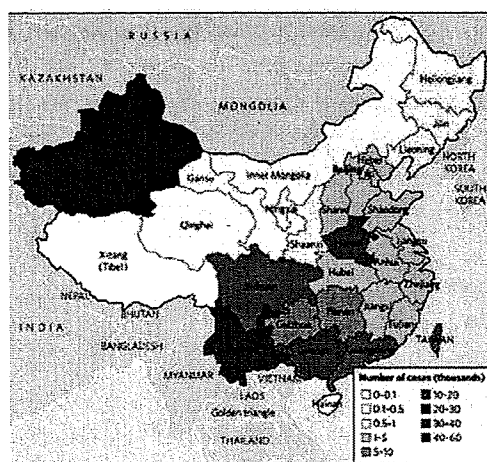
A5 文化程度 1: 不识字(文盲) 2: 初小 3: 高小 4: 初中

In 448名 out 411名
(データ整理分析中)

The image shows two side-by-side screenshots of a spreadsheet application, likely Microsoft Excel. Both windows display a table with multiple columns. The columns include names (e.g., 'Name'), dates (e.g., 'Date'), and other identifiers. The data appears to be organized in a list format, possibly representing survey results or patient records. The text above the screenshots indicates that data is being processed for 448 out of 411 individuals.

国際共同研究体制と2009年展望

- 国境を越える流動人口を対象した研究を進行しつつ、日本人多く出入りする北京、上海、江蘇省にもSWを中心とする調査を展開したい。



平成 21 年度総括研究報告

平成 21 年度

先進国を中心とした海外におけるエイズ発生動向、調査体制、対策の分析

主任研究者：山本 太郎

長崎大学熱帯医学研究所 教授

分担研究者：奥村 順子
(長崎大学熱帯医学研究所 准教授)
研究協力者：蔡 国喜
(総合地球環境学研究所 研究員)
秦 亮
(久留米大学医学部 助教)
張 卓
(日本エイズ予防財団
リサーチ・レジデント)

1. 研究目的

流動人口に焦点をあて、HIV/エイズのハイリスク集団の特定と発生動向や対策を調査する。

特にわが国と行き来の多い中国、東南アジアを中心にその実態把握を行う。タイ・ミャンマー国境地帯における国際的人口移動とHIV/エイズ発生リスクと対策に関する調査を行う。

2. 研究方法

本年度は、文献調査、聞き取りを中心に調査を行った。昨年に引き続き、中国衛生部や国勢調査からのデータを基つき、雲南省の3都市および上海市を中心としたHIV/AIDSの流行と流動人口に関連する情報を収集・解析した。さらに、ラオス国境付近における中国およびラオスの流動人口に対する保健医療サービスのあり方について検討をおこなった。これらについては、主任研究者と研究協力者が中国疾病予防管理センター・エイズ・性病予防管理センター(北京・上海)の協力を得て最新データを収集・解析した。分担研究

者は、在日外国人の推移とHIV/AIDS発生動向などのデータを収集し、在日外国人に対する保健医療システム構築の重要性について検討した。

(倫理面への配慮)

感染者・患者などの個人を対象とした調査は実施しないため、倫理上の問題はないと考える。また、資料としてすでに匿名コード化された第1次資料を用いるため、「疫学研究に関する倫理指針(文部科学省、厚生労働省)」の対象外であり、同指針に抵触しないと考える。

3. 研究結果

タイを中心とするメコン川経済圏諸国におけるHIV感染拡大とアジアにおける性産業従事者の移動状況、さらには不法(ビザ無し)外国人就労者の流れ、これら3点はそのパターンに共通点が多々見られる。事実、1980年後半にタイに持ち込まれたHIVは、その後メコン川経済圏諸国へと拡大した。

タイでは、ビザ無し外国籍労働者を対象とする保健医療システムを構築し、HIV感染リスクとなる疾患の早期発見に努めてきた。同国におけるHIV対策には、対象者として外国人が明確に明記されている。この点を含む積極的な対策プログラムが功を奏し、タイでは1990年代後半には新規HIV感染者数は減少し、現在もその傾向を維持し続けている。

一方、ミャンマーやラオスなどのメコン川経済圏諸国との往来が活発な中国南西部の雲南省では、1980年代半ばにHIVが持ち込まれ、この地に入ったHIV subtype BおよびCは、その後CRF07_BCやCRF08_BCに変化し、現在も中国

全土で確認されている。ことに CRF07_BC は 2002 年には台北でその感染例が報告されており、出稼ぎ労働者などの流動人口により広がっていると考えられる。

中国における HIV 感染者数はわが国同様に増加傾向が見られ、有効な対策が検討・構築されつつある。中国への HIV 感染のエントリーポイントといわれている雲南省では、NGO などの協力を得て対策が実施されている。例えば、臨滄市では、2005 年より IDUs にメサドンによる治療を提供しており、この中には 98 名の AIDS 発症 HIV 感染者が含まれ、彼らには ART も提供されている。また、同省西双版纳州では路上で客待ちをする Commercial Sex Workers (CSWs) に対してコンドームを配布するなどの活動が NGO により実施されている。しかしながら、中国においては、その巨大な人口規模から、自国民に対する支援および対策も目下のところ十分といえる状況にはなく、外国人労働者に対する保健医療システムはほとんど実施されてはいない。

目下のところ、わが国において報告された HIV 感染例の中には、CRF07_BC や CRF08_BC はない。しかしながら、「その他のサブタイプ」として報告されている中にこれらが含まれるか否かは、既存のデータからは不明である。わが国の HIV 感染例におけるサブタイプの動向について 2001 年以前と 2007 年とで比較したところ、両者とも subtype B が主たるもので、次に多かったのは東南アジアに由来する CRF01_AE であった。ただし、後者については徐々に減少傾向が見られる。

日本における HIV 感染者の感染地の変遷を追うと、2008 年に報告された日本人感染者の 91% の感染地が国内であった。一方、在日外国人感染者のうち感染地を日本国内とするものは 42% であった。2000 年以前は、在日外国人感染者の感染地については不明なケースが大多数を占め、感染地を海外とするものが、日本国内を上回っていたが、2001 年以降は在日外国人 HIV 感染者においても感染地として日本が最も多くあげられるようになり、感染地の転換がみられる。

2008 年末における韓国・朝鮮国籍以外の在日外国人数（登録者）は 1998 年に比べるといづれも増加している。法務省によれば、2009 年 1 月 1

日現在の日本におけるビザ無し在日外国人数は約 11 万人でその内訳は韓国人 22%、中国人 16%、フィリピン人 15%、タイ人 5%であった。これらの在日外国人の健康・職業等の実態はほとんど明らかとなっていない。

4. 考察

タイにおけるビザ無し外国籍労働者を対象とする保健医療システムの構築は、外国籍労働者における HIV 感染リスクとなる疾患の早期発見を可能とし、HIV 感染者数の減少に一部寄与しているものと考えられる。

中国における HIV 感染者数はわが国同様に増加傾向が見られる。「正規に登録済みの在日外国人のうち約 30% が中国国籍者であり、近年、日中の交流が活発である」こと、また「CRF07_BC は 1990 年代後半には台湾南部に広がり、その後 2002 年には台北に拡大した」ことから、目下のところ、わが国の HIV 感染例として報告されていない CRF07_BC の発生動向に注目する必要性が示唆される。

わが国における HIV 感染者報告数は引き続き増加しており、日本に居住する外国人の数も依然少なくはない。わが国最大の在日外国人コミュニティーの本国である中国でも HIV 感染者報告数は増加傾向にある。2009 年 1 月現在でのビザ無し在日外国人の 20% を中国籍（台湾を含む）が占めることなどを考慮すると、タイが実施した外国籍労働者を対象とする保健医療制度の導入の検討が必要と思われる。

5. 自己評価

1) 達成度について

これまでの調査により、上海及び雲南省における流動人口の人口動態学的特徴を明らかにすることができた。また、雲南省を中心とする流動人口のリスク行動を明らかにし、その一部を 2009 年 10 月にラオスにおいて開催された The third National Health Research Forum において "Needs assessment for AIDS-related healthcare service among China-Laos migrants" と題し、口頭発表を行った。さらに、先行研究ならびに公表データを一部解析・整理することで、わが国に在住する外国国籍者を対策の

対象に加える必要性について検討をおこなった。以上のことから、本研究の本年度目標は達成できたと考える。

2) 研究成果の学術的・国際的・社会的意義について

わが国のHIV/エイズの流行は、1999年の感染症法施行によるサーベイランス体制の変化、特に、病変報告の提出が任意化されたことによる推計困難化という要因もあって、一概には断定しにくい点はあるが、HIV感染報告数のみならず、エイズ発症報告数の増加という憂慮すべき状況にある。その一部は海外との交流によってもたらされている。このような状況の中で、わが国と人的交流の深い国々の疫学動向や対策を調査することは、対策を講じる上においても必要な基礎資料となる。

3) 今後の展望について

A. 人的交流が盛んであり、中国におけるHIVのエントリーポイントとされる雲南省において、種々のsubtypeにおける薬剤耐性発現状況に焦点をあてた研究を計画中である。

B. 在日外国人における健康問題（HIV/AIDSならびに性感染症を含む）に関する状況を明らかにし、在日外国人を対象とした保健医療制度のあり方に関する研究を計画中である。

6. 結論

国連エイズ合同計画等国际機関による各年の疫学資料は比較的入手しやすいが、特定の集団に焦点を当てた疫学情報、あるいは、わが国との人の交流といった点からの疫学調査、対策調査、つまり国内応用性に言及した調査は少ない。また、発生動向のみならずリスク行動サーベイランスの役割の検討も十分行われてこなかった。本研究では、わが国と交流の頻繁な中国および東南アジアの国を調査対象に加え、対策と国内応用性に言及した調査となるところに特色があるといった点で、本研究実施の意味は大きいと考える。

7. 知的所有権の出願・取得状況（予定を含む）

特になし

研究発表

主任研究者

山本 太郎

原著論文による発表

欧文

- 1) Oshima K, Fujii H, Eguchi K, Otani M, Matsuo T, Kondo S, Yoshiura K, Yamamoto T. A Further Insight into the Origin of Human T-Lymphotropic Virus Type 1 (HTLV-1) in Japan, Based on the Genotyping of ABCC11. *Tropical Medicine and Health*.37(3):121-123, 2009.
- 2) Magafu M, Moji K, Lgumvor EU, Hashizume M, Mizota T, Komazawa O, Cai G, Yamamoto T. Usefulness of Highly Active Antiretroviral Therapy on Health-Related Quality of Life of Adult Recipients in Tanzania. *AIDS PATIENT CARE and STDs*. 23(7):563-570, 2009.
- 3) Abe M, Muhoho ND, Sunahara T, Moji K, Yamamoto T, Aoki Y. Effect of communal piped water supply on water use pattern and the transmission of schistosomiasis haematobia in an endemic area of Kenya. *Tropical Medicine and Health*. 37(2):43-53, 2009.
- 4) Eguchi K, Fujii H, Otani M, Oshima K, Matsuo T, Yamamoto T. Human T-Lymphotropic Virus Type 1 (HTLV-1) Genetic Typing in Kakeroma Island, an Island at the Crossroads of the Ryukyans and Wajin in Japan, Providing Further Insights into the Origin of the Virus in Japan. *Journal of Medical Virology* 81: 1450-1456, 2009.
- 5) Zhang Z, Cai G, Moji K, Yamamoto T, Wu X (2008). A practical handbook for preventing exposure to blood among health workers. Tianjin Science and Technology Press. ISBN 978-7-5308-4521-9
- 6) Guoxi CAI, Jun KANG, Ling SHEN, Xiangdong MIN, Zhunyou WU, Keming ROU, Taro YAMAMOTO, Kazuhiko MOJI. Assessment of a questionnaire used for an AIDS-related KABP survey among physicians in China. *Information SCIE* 2009.
- 7) Yamamoto T, Crump A. Japan's aid commitment to health and Africa. *Lancet* 369: 28, 2007.

分担研究者

奥村 順子

原著論文による発表

欧文

- 1) Junko Okumura, Tatsuro Kai, Zinatul Hayati, Fadrial Karmil, Kazuko Kimura, Yasuhiro Yamamoto. Antimicrobial therapy for water-associated wound infections in a disaster setting: Gram-negative bacilli in an aquatic environment and lessons from Banda Aceh, *Prehospital and Disaster Medicine* 24 (3): 187-94, 2009.

- 2) Junko Okumura, Yoshihiro Nishita, Kazuko Kimura. Pharmaceutical supply for disaster victims who need chronic disease management in aging region – Lessons from the Noto Peninsula Earthquake, 2007 in Japan - *Yakugaku Zasshi* 128 (9): 1275-83, 2008.
- 3) Yoshihisa Shirayama, S. Phompida, Chushi Kuroiwa, Miki Miyoshi, Junko Okumura, and Jun Kobayashi. Maintenance behavior and long-lasting insecticide-treated nets (LLITNs) previously introduced into Bourapar district, Khammouance province, Lao PDR, *Public Health* 121 (2): 122-29, 2007.
- 4) Miho Nozue, Miki Miyoshi, Junko Okumura, Hugo Sanchez, Juan Andreu, Chushi Kuroiwa. Prevalence and determinants of obesity and dietary habits among adults in rural area, Chile. *Bio Science Trends* 1 (3): 140-48, 2007.
- 5) Junko Okumura, Susumu Wakai. Concern over localized HIV/sexually transmitted infection epidemic during conflict in Nepal, *Tropical Doctor* 35(2): 125-6, 2005.

研究協力者

蔡 国喜

原著論文による発表

欧文

- 1) Guoxi CAI, Jun KANG, Ling SHEN, Xiangdong MIN, Zhunyou WU, Keming ROU, Taro YAMAMOTO, Kazuhiko MOJI. Assessment of a questionnaire used for an AIDS-related KABP survey among physicians in China. *Information SCIE* 2009.
- 2) Zhang Z, Cai G, Moji K, Yamamoto T, Wu X (2008). A practical handbook for preventing exposure to blood among health workers. Tianjin Science and Technology Press. ISBN 978-7-5308-4521-9
- 3) Cai G, Moji K, Honda S, Wu X, Zhang K: Inequality and unwillingness to care for people living with HIV/AIDS: a survey of medical professionals in Southeast China. *AIDS Patient Care STDS* 21 (8): 593-601, 2007.

口頭発表

海外

Guoxi CAI, Ling SHEN, Jun KANG, Zhuo ZHANG, Taro YAMAMOTO, Kaining ZHANG and Kazuhiko MOJI, (2009.10), Needs assessment for AIDS-related healthcare service among China-Laos migrants, The third National Health Research Forum (NHRF 2009), Oct. 2nd and 3rd, 2009, Champasak, Lao PDR.

秦 亮

原著論文による発表

欧文

- 1) Qin L, Masaki H, Gotoh K, Furumoto A, Terada M, Watanabe K, and Watanabe H. Molecular epidemiological study of *Moraxella catarrhalis* isolated from nosocomial respiratory infection patients in a community hospital in Japan. *Intern Med*, 48:797-803, 2009.
- 2) Kuroki R, Kawakami K, Qin L, Kaji C, Watanabe K, Kimura Y, Ishiguro C, Tanimura S, Tsuchiya Y, Hamaguchi I, Sakakura M, Sakabe S, Tsuji K, Inoue M, and Watanabe H. Nosocomial bacteremia caused by biofilm-forming *Bacillus cereus* and *Bacillus thuringiensis*. *Intern Med*, 48:791-796, 2009.
- 3) Gotoh K, Qin L, Watanabe K, Anh DD, Huong PLT, Anh NTH, Cat NDL, Ha LL, Ai LTT, Tien NM, Minh TT, Oishi K, and Watanabe H. Prevalence of *Haemophilus influenzae* with resistant gene isolated from young children with acute lower respiratory tract infections in Nha Trang, Vietnam. *J Infect Chemother*, 14: 349-353, 2008.

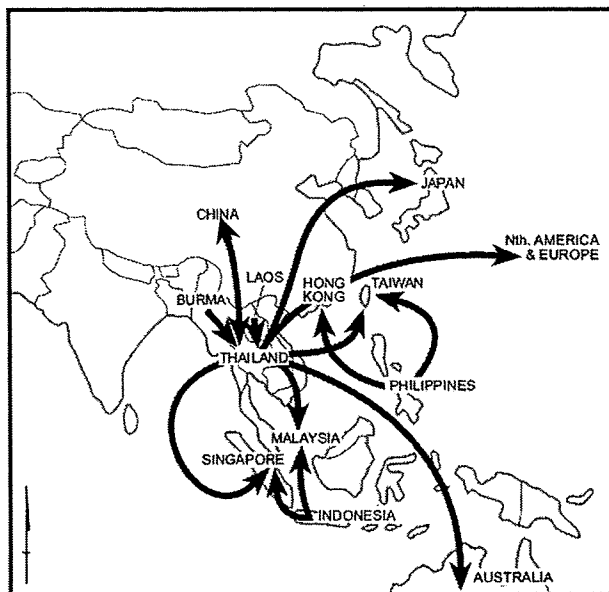
張 卓

原著論文による発表

欧文

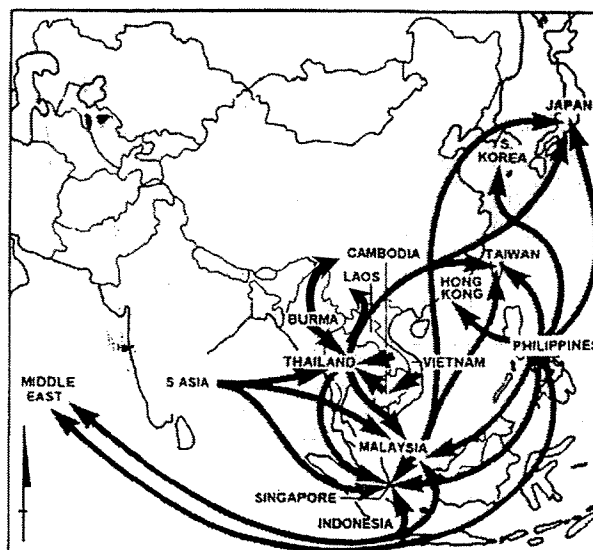
- 1) Zhuo Zhang, Kazuhiko Moji, Guoxi Cai, Junichi Ikemoto, Chushi Kuroiwa. Risk of sharps exposure among health science students in northeast China. *BioScience Trends*. 2(3):105-111, 2008.
- 2) Zhang Z, Cai G, Moji K, Yamamoto T, Wu X (2008). A practical handbook for preventing exposure to blood among health workers. Tianjin Science and Technology Press. ISBN 978-7-5308-4521-9.

アジアにおける性産業従事者の移動



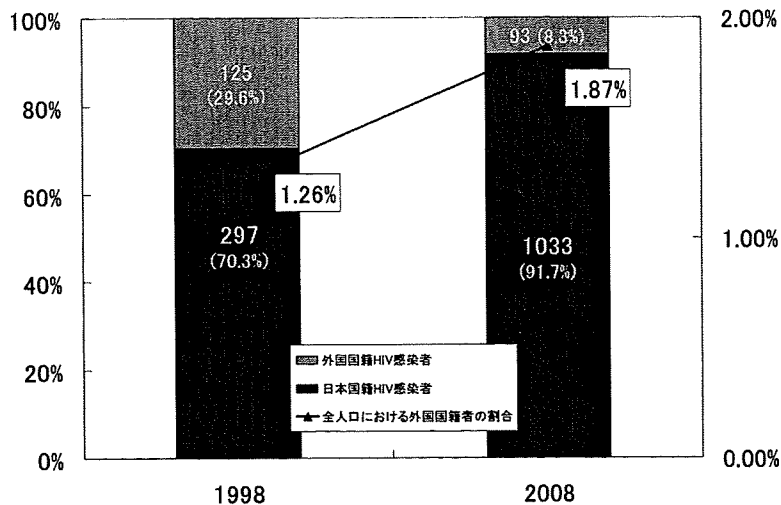
Source: Global Commission on International Migration. Migration in the Asia-Pacific region, available at: <http://www.gcim.org/mm/File/Regional%20Study%202.pdf>

アジアにおける不法(ビザ無し)外国人就労者の流れ



Source: Global Commission on International Migration. Migration in the Asia-Pacific region, available at: <http://www.gcim.org/mm/File/Regional%20Study%202.pdf>

外国国籍者人口と国籍別HIV感染者推移



Source: 1) 法務省入国管理局, 平成20年度末現在における外国人登録者統計について. Available at: <http://www.moj.go.jp/PRESS/090710-1/090710-1.html>; 2) 厚生労働省, 平成20年人口動態統計. Available at: <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001028897>; 3) 厚生労働省エイズ動向委員会, 平成20年エイズ発生動向. Available at: http://api-net.jfap.or.jp/mhw/survey/08nenpo/nenpo_menu.htm.

The Review of HIV/AIDS Epidemic in Mainland China



1985-1988: The entry phase

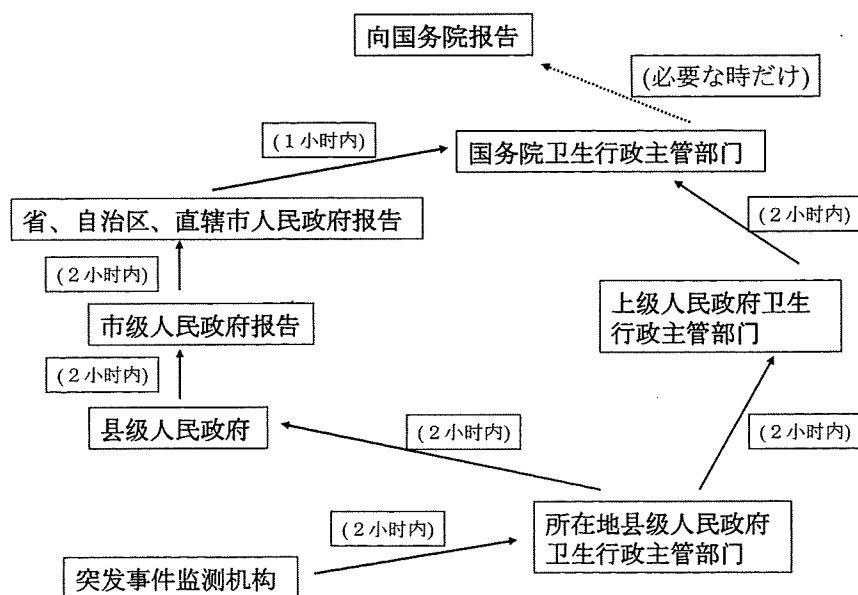
1989-1994: The spreading phase

1995-Present: The expansion phase

感染症対策に関する法規

1986年12月2日	中华人民共和国国境卫生检疫法
1998年11月28日	国内交通卫生检疫条例
1991年10月4日	中华人民共和国传染病防治法实施办法
2004年8月28日	中华人民共和国传染病防治法
1996年12月30日	血液制品管理条例
1997年12月29日	中华人民共和国献血法
2005年11月17日	血站管理办法
2003年5月7日	突发公共卫生事件应急条例
2003年11月7日	突发公共卫生事件与传染病疫情监测信息报告管理办法
2005年1月5日	关于疾病预防控制体系建设的若干规定
2005年2月28日	医疗机构传染病预检分诊管理办法
2004年11月5日	病原微生物实验室生物安全管理条例
2006年8月15日	人间传染的高致病性病原微生物实验室和实验活动生物安全审批管理办法

Emergency Reporting System of China

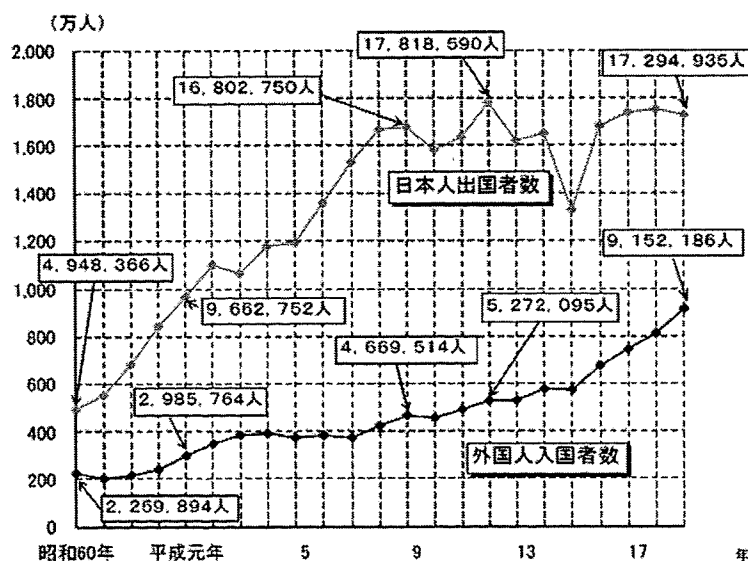


Current situation of HIV/AIDS epidemic in China, year 2006

	Cumulative Reported cases	Estimated cases
People living with HIV	223,501	700,000 (550,000~850,000)
AIDS cases	62,838	85,000 (80,000~90,000)
New HIV infections	-	50,000 (40,000~60,000)
AIDS deaths	22,205	20,000 (15,000~25,000)
Prevalence of HIV infection (%)	-	0.05 (0.04~0.07)

(Derived from: "A joint assessment of HIV/AIDS prevention, treatment and care in China 2007", UNAIDS)

外国人入国者数・日本人出国者数の推移



出所: 入国管理局 統計データ

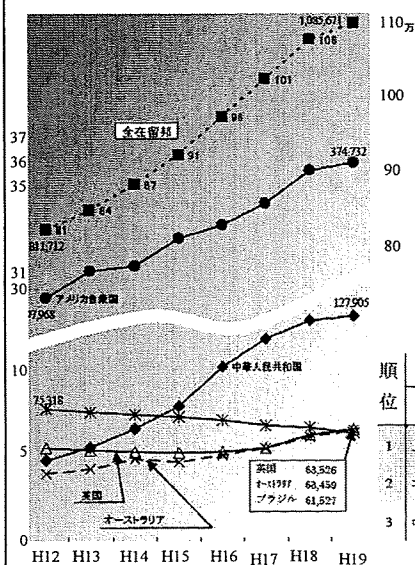
アジアから新規入国・再入国者一覧

国籍(出身地)	総数	構成比 (%)	うち		うち	
			新規入国者数	構成比 (%)	再入国者数	構成比 (%)
総数	9,152,186	100.0	7,721,258	100.0	1,430,928	
アジア	6,749,139	73.7	5,635,140	73.0	1,113,999	
韓国	2,845,556	31.1	2,472,620	32.0	372,936	
中国(台湾)	1,428,873	15.6	1,357,132	17.6	71,741	
中国	1,140,419	12.5	714,791	9.3	425,628	
中国(香港)	401,585	4.4	397,503	5.1	4,082	
フィリピン	195,596	2.1	84,198	1.1	111,398	
タイ	187,835	2.1	160,042	2.1	27,793	
シンガポール	153,656	1.7	148,444	1.9	5,212	
マレーシア	102,751	1.1	92,620	1.2	10,131	
インド	69,328	0.8	48,026	0.6	21,302	
インドネシア	65,287	0.7	56,003	0.7	9,284	
その他	158,253	1.7	103,761	1.3	54,492	

出所: 入国管理局 統計データ

在留邦人の動向

国別

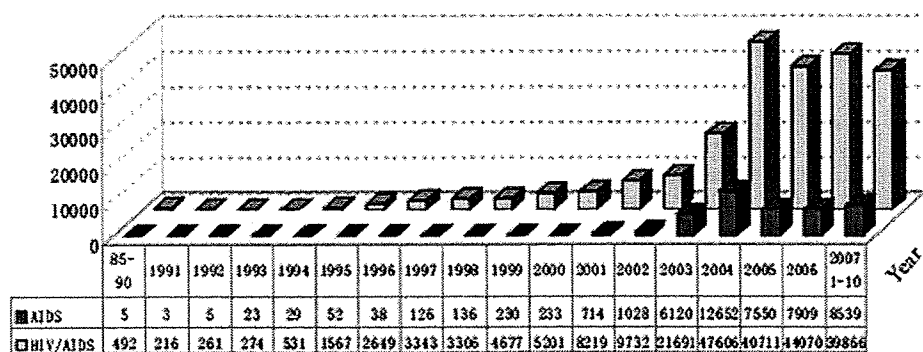


都市別

順位	平成 19 年 10 月 1 日現在			平成 18 年 10 月 1 日現在		
	都市名	邦人数	前年比	都市名	邦人数	前年比
1	上海	47,731	+8.58%	ニューヨーク都市圏	48,439	+1.48%
2	ニューヨーク都市圏	40,068	▲17.28%	上海	43,960	+9.28%
3	ロサンゼルス	39,905	+3.08%	ロサンゼルス	38,711	+11.22%

出所: 外務省 統計データ

Reported HIV and AIDS cases, 1985-2007. 10



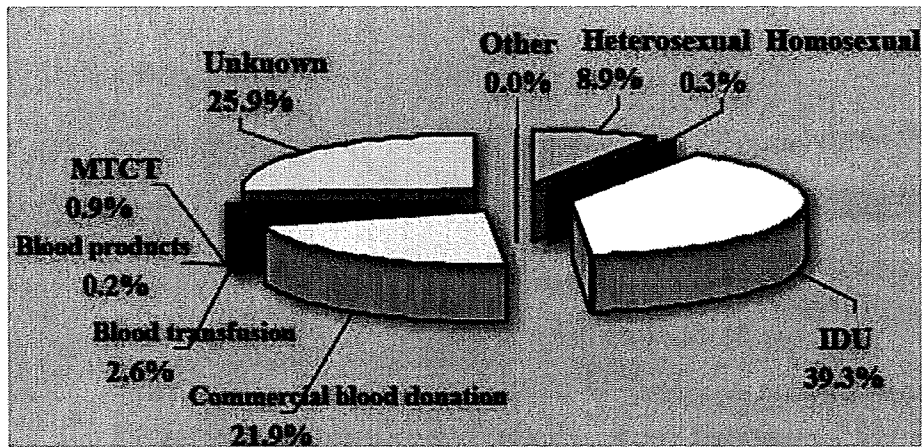
(Derived from: "A joint assessment of HIV/AIDS prevention, treatment and care in China 2007", UNAIDS)

The geographic distribution of cumulative reported HIV cases in China 1985-2004. 9



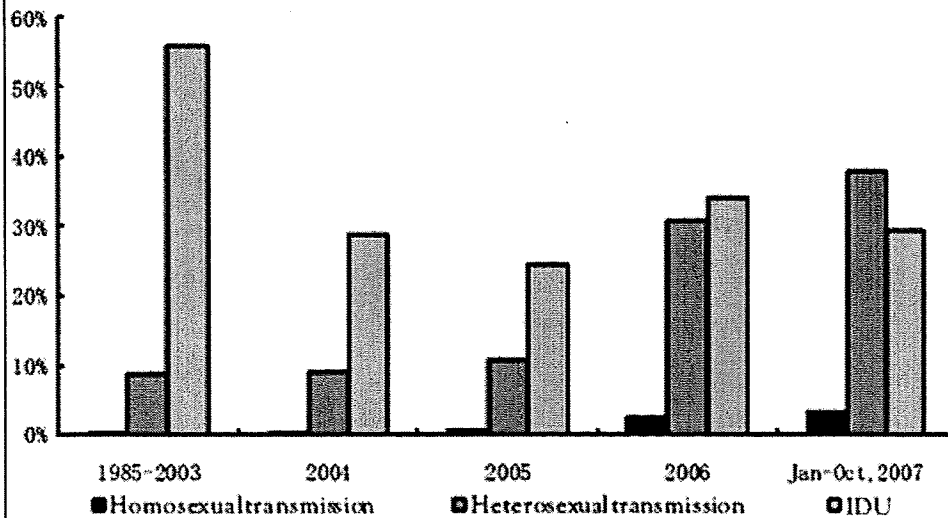
Data from: Ministry of Health of the People's Republic of China

Modes of transmission among cumulative HIV cases by the end of December 2005



Data from: Ministry of Health of the People's Republic of China

Distribution of sexual and IDU transmissions of HIV from web-based reporting



(Derived from: "A joint assessment of HIV/AIDS prevention, treatment and care in China 2007", UNAIDS)